

スルモ、
活ヲ保持シツアルヲ以テ何時停止セラル、トモ知レザル現行ノ臨時手
当制度ヲ其終存買セラル、ニ於テハ吾等ノ最モ不安ニ堪ハサル所ナリ故ニ斯
、如キ制度徹癉ニ確立ニ本給ニ直サル一事ハ生活ノ安定ヲ保ツ爲
ニ最モ當然ナルコト、信ズルモノナリ、

ハ割増手当ナルモノハ職工ニ付シ獎勵優遇ノ目的ヲ以テ支給セラレ、モノト
察ス、然ルニ給料ノ高底職務ノ上下ニ依リ非常ニ差異アルコトハ昔者
シテ反感ヲ誘發シ反テ獎勵ノ意味ヲ誤解スルコト多シ又之ガ
爲ニ不平ハ増進シ仕事ノ能率ハ減少シ例バ或者ハ四割ヲ得
或者ハ二割ニ過キズト云フガ如キ同地位ニアリテ其割合率ヲ異ニセ
ルアリ、賃銀ニ高底アルガ如ク勤勉ニモ差異アルハ免ルコト能ハハ
ルモ賃銀銀差ニ加フルニ割増率ノ高底今日、如ク甚シキニ於テハ其全
収入ノ懸隔ノ増大スルコトニシテ働クモノハ益々働キ怠ル者ハ益々怠
ルコト、ナルヲ信ズ、更ニ割増率不公平九事突ハ下級責任者ガ

事實上自由ニ之ヲ定メ得ルニテリテ職工ノ忠性、勤怠、技倆ヲ参酌シテ公正
ナル見地ニ立ツズ、稍モスレバ感情ニ依テ左右スル、事ノ優劣ヲ参照アラズ
况ニヤ善良ナル職工ニ不公平ナル割増ヲ與シテ其ノ不平憤懣ハ到底
停止スル所ナレ、カレガ故ニ然レテノ職工ニ付シ出来得ル迄、勉勵ヲ
強イントスレバ各職工ノ自學的、勤勉ヲナサレ、
当ハ宜シク平等ニシテ其恩惠ニ感激セシムル様ナスハ最モ心算ナルコト
ト信ズルヲ疑ハズ

ハ人ハ立止ニ無病息災ナルモノト確定スルコト能ハズ、天災地變モアル可ク
不時ノ之振盪モアリ、然ルニ三日間ノ欲勤ニ依テ割増ノ全部ヲ消失セ
ルハ其ノ月ノ勤怠ニ甚大ナル關係ヲ有シ自是來自來トナリ欲勤日數ノ増
加スルコトアルハ明白ナル事實ナリ故ニ割増ハ出勤日數ニ依テ支給
スルヲ以テ最モ至心ナルコト、信ズ